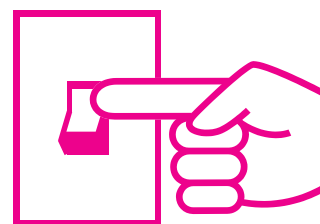


電力使用削減大作戦

—西尾市節電・エネルギー対策実行計画—



市では、率先して節電に取り組み電力需要の抑制を図るため「市節電・エネルギー対策実行計画」を定めました。東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故を受け、政府からの要請により、中部電力が浜岡原子力発電所の運転停止を5月9日に決定しました。このため、西尾市でも全市を挙げた緊急的な節電対策を推し進め、危惧される今後の電力不足に対応することが必要であると考え、市長を本部長とする「市節電・エネルギー対策本部」を5月13日に設置し、実行計画を策定しました。

本計画は、夏の電力不足に対応し、安全で安心な市民生活や安定的な経済活動を確保するとともに、行政サービスを安定的に提供することを指すものです。また、市民・事業者と行政が一体となって、節電などの取り組みをすることで節電意識を高め、省エネルギー・新エネルギー生活への転換を促進します。

実行計画取り組み項目

実施済み（6月10日現在）

■節電対策

- ・例年6月から始めていたクールビズを前倒し（5月16日から）実施します。さらに、6月1日からスーパークールビズの導入とともに、市役所・公共施設の空調を適切な温度（冷房28℃）にします
- ・毎週水曜日をノー残業デーとし、庁舎全体での使用電力を抑えます
- ・行政サービスが低下せず、利用者の負担にならない程度に、市役所・公共施設の照明を一部消灯します
- ・これまで以上に昼休み中の一部消灯を徹底します
- ・市役所のエレベーターの運転を一部停止し、トイレのハンドドライヤーの利用を停止します
- ・オフィス機器の省電力化機能を積極的に利用します

実施予定・検討中

■節電対策

- ・保育園、公民館などでの「緑のカーテン」の実施
- ・「緑のカーテン」作り方講座の充実とコンテストの実施
- ・扇風機、よしずの活用
- ・児童クラブで節電勉強会の実施
- ・職員や市民の方への節電の周知
- ・市役所や公共施設の空調設備などの一時停止
- ・更新時期となった電灯・電球の省エネ電灯・電球への取り換え
- ・観光関連の案内板やイルミネーションの時間短縮や消灯
- ・空調設備設置方法の改善、施設の契約アンペアの再確認、デマンドコントローラの導入、窓への断熱フィルムの貼り付け
- ・パソコンなどの電気機器について、使用時以外に電源を切る、コンセントをこまめに抜くなどの徹底

■エネルギー対策

- ・住宅用太陽光発電装置設置費補助金の追加（6月補正予定）
- ・今年度と来年度で建設予定の室場こども園（仮称）に太陽光発電設備を設置

※スーパークールビズは、環境省が推進しているもので、ポロシャツやアロハシャツ、Tシャツの節度ある着用を認めるものです。市では、観光・イベントPRも兼ねて実施しています。

<ライトダウンキャンペーン>

6月22日～8月31日

環境省では、ライトアップに慣れた日常生活の中、電気を消すことでのいか照明を使用しているかを実感し地球温暖化問題について考えるきっかけにさせていただこうと、ライトダウンキャンペーン「昼も夜もライトダウン2011」を6月22日から8月31日までの期間で実施しています。

7月7日は、昼間の2時間（任意）と午後8時から10時までの消灯を呼び掛ける「七夕ライトダウン」が行われます。今年は、浜岡原子力発電所の全面停止などに対応した夏の電力消費量の抑制が求められています。消灯・省エネの実践に、ご協力をお願いします。
問合先 環境保全課（☎34・8111／クリーンセンター内）

緑のカーテンで涼しく夏を過ごす

江原町 三輪守人さん

2年前の夏に孫が誕生するとき、気持ちよく過ごせるように緑のカーテンの規模を以前より大きくし、それをきっかけに緑のカーテンコンテストに参加しました。東側と南側の窓辺にアサガオやユウガオ、ゴーヤを植えたところ、その効果は絶大で、花と葉の美しさは目に優しく心も癒され、エアコンの設定温度を必要以上に低くしなくても涼しさを体感できました。

今年は、節電が国や県からも呼び掛けられています。緑のカーテンに加え、テレビなどの電化製品を、使用時以外ではできるだけ消すように心がけていきたいと思っています。



冷蔵庫編

●ものを詰め込み過ぎない
周囲温度22℃の時、設定「中」で詰め込んだ場合と半分にした場合の比較

1日あたり約0.12kWh、市全体では約6,801kWhの節電になります。

テレビ編

●1時間見る時間を減らす
1日1時間テレビ（20インチの液晶）を見る時間を減らした場合

1日あたり約0.04kWh、市全体では約2,267kWhの節電になります。

参考資料：家庭の省エネ大辞典2011年版（財省エネルギーセンター発行）

エアコン編

●冷房の設定温度を1℃高くする
外気温度31℃の時、エアコン（2.2kW）の冷房設定温度を27℃から28℃にした場合（使用時間＝9時間／日）

1日あたり約0.27kWh、市全体では約15,302kWhの節電になります。

●冷房の利用時間を1時間減らす
外気温度31℃の時、エアコン（2.2kW）の冷房設定温度28℃の時、使用時間を1時間短縮した場合

1日あたり約0.17kWh、市全体では約9,634kWhの節電になります。

●フィルターを掃除する
外気温度31℃の時、エアコン（2.2kW）の冷房設定温度28℃の時、フィルターを掃除して使用した場合

1日あたり約0.11kWh、市全体では約6,234kWhの節電になります。

家庭で簡単にできる節電

家庭で簡単にできる節電について、いくつかご紹介いたします。各家庭でもご協力をお願いします。（平成23年4月1日現在の世帯数より計算しています）

市では、今後の社会情勢を注視しながら、中長期的な視野に立つて、実効性のある対策に取り組みます。

節電・省エネルギーに対する市民意識の高揚も図りつつ、市節電・エネルギー対策本部も会議を重ね、さらなる追加対策を実施していきます。

今回紹介した節電対策のほかに「家ではこんな節電をやっている。みんなもやってみて！」「市役所でこんな節電ができそうだ。ぜひ検討して欲しい」など、アイデアをお持ちの方はぜひお寄せください。皆さんのアイデアをホームページを通じて紹介します。アイデアを参考にして、節電ライフを充実させましょう。

昨年は記録的猛暑。気象庁によれば、今年はそれほどではありませんが、平年より暑い夏の予報が発表されています。市民・事業者と行政で協働して、夏の電力不足を乗り切りましょう。

問合先 企画政策課企画担当

☒ kikaku@city.nishio.lg.jp

